

平成29年度

事業報告書

公益財団法人 新潟観光コンベンション協会

事業報告（総括）

平成29年度は国の海外誘客の取り組みに併せ、国内外からのインバウンドを促進するため、広域連携による魅力ある観光ルートを活用し、プロモーションやセールスを積極的に行いました。

また、地域資源の磨き上げを促進し、新潟の魅力発信に取り組みました。

協会が取り組む3つの柱に基づき、

- ① 「食と花と酒」、「みなとまち文化」を活かした観光コンテンツの充実及び訪日外国人の受け入れ強化では、

新潟の食、酒、花、自然の他、農業体験や食文化体験など、新潟の素材や季節感を活かした着地型旅行商品「新潟ふうど探訪の旅」や、レストランバスを活用したツアー、古町芸妓を鑑賞し「みなとまち新潟」を体験できる団体向け、個人向け商品を企画・実施したほか、当協会が作成・管理する観光情報サイト及び観光フォトライブラリーをリニューアルし、新潟の魅力発信に積極的に取り組みました。

また、訪日外国人の受け入れ強化では、新潟駅万代口観光案内センターが日本政府観光局が認定する外国人観光案内所の「カテゴリー2」に認定され、これまで以上に広域的な観光案内に努めたほか、外国人観光客向けの新たなサービスを展開しました。

- ② 都市の拠点性を活かした広域的な連携による国内外からの誘客では、

国の訪日施策や、県、市等の海外観光客誘客活動との連携により、韓国、中国、台湾、香港等のほか、今後伸びが期待できるアメリカへ旅行商品造成報奨金や空港到着後の二次交通運行助成、また、魅力ある広域観光ルート等を活用し、観光誘客に積極的に取り組みました。

また国内においては、市やJR東日本新潟支社と共に首都圏での観光PR等を実施したほか、新潟と定期航空路で結ばれている札幌、名古屋、大阪、福岡及び沖縄の旅行会社等へ、新潟の拠点性や観光情報を提供し、各地からの誘客向上に繋げました。

- ③ 新潟市文化・スポーツコミッションと連動した「MICE」誘致の推進では、

国内各地でコンベンション誘致競争が激しくなる中、本市での開催の魅力や優位性をPRするため、県外へのコンベンションセールスを積極的に実施するとともに、企業ミーティング支援を行いました。

また、文化、スポーツイベント等の誘致に向け、情報収集や関係機関への誘致活動を行う新潟市文化・スポーツコミッションと一体となった「MICE」誘致活動に取り組みました。

公益目的事業会計

公1：観光事業

123,775,794円

[観光PR事業]

1 情報発信事業

3,874,672円

新潟市観光情報サイト「Welcome to Niigata City」の日本語版、及び外国語版（5言語6表記：英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語、ロシア語、フランス語）の管理・更新を行った。

また、サイトの見やすさ、分かりやすさの改善のため日本語サイトのリニューアルを行った。

訪問数：890,161（前年度 1,053,909）
ページビュー数：1,376,695（前年度 1,598,004）

新潟市の観光に関する画像データを、新潟市観光フォトライブラリーサイトで公開し、新潟へのツアーを造成する旅行会社や各種メディア、印刷会社等に無料で貸し出し、新潟市を広くアピールした。

また利用者の利便性を高めるため、フォトライブラリーシステムをリニューアルし、画像の自動送信システムを導入した。

フォトライブラリー貸出件数：479件（前年度 607件）

2 広告展開事業

6,348,894円

新潟市の観光の魅力を発信し、県内外からの誘客を促進するため、マスメディアへの広告出稿を実施した。また、新潟の魅力を対外的にアピールするため、セールス等で配布するプロモーションツールを作成した。

<広告関連>

- 月刊にいがた別冊「新潟観光いいトコどり」
- まっふる新潟別冊
- 荘内日報「敬天愛人2月号」
- 北陸道の駅スタンプラリー&クーポンラリー
- WEBプロモーション「楽天トラベル 旅頃」

<プロモーションツール>

- キャンペーン用手提げ袋 75,000枚
- 新潟柳都古町芸妓2018年版カレンダー 250本
- USBメモリ 300個
- メモ帳 300冊

観光誘客を目的として首都圏等の旅行会社に「古町芸妓の舞」鑑賞を中心とした企画商品のセールスを実施したほか、観光物産展などに参加し観光PRを行った。

＜主な観光PR・商談会・セールス＞

- ・ 6/9 うまさぎっしり新潟産直市（大宮駅）
- ・ 6/21～22 藤崎百貨店物産展
- ・ 9/21 うまさぎっしり新潟産直市（上野駅）
- ・ 9/21 うまさぎっしり新潟 新潟県観光商談会
- ・ 9/22 首都圏旅行会社へのセールス活動
- ・ 10/5～6 観光キャラバン（福島、埼玉、群馬）
- ・ 1/20～21 日本海寒鱈まつり
- ・ 2/21～22 岡島百貨店物産展
- ・ 2/27 うまさぎっしり新潟 新潟県観光商談会
- ・ 3/6～7 札幌三越物産展

新潟市を応援していただける方や、新潟市サポーターズ倶楽部の会員を中心に、市の食や観光などの魅力を伝える情報交換会「新潟フレンズパーティー」を新潟市と共催し、新潟のイメージアップを図った。

期 日：平成30年1月17日（水）

会 場：ホテルオークラ東京 アスコットホールⅡ、Ⅲ

トークショー：「ミッドナイト・バスの系譜をたどる」

講 師：竹下 昌男 氏（映画「ミッドナイト・バス」監督）

聞き手：阿部 久 氏（新潟日報社）

出席者：135名（前年度比+3名）

4 広域連携ネットワーク事業

上越新幹線沿線観光協会ネットワーク（高崎、みなかみ、湯沢、新潟、佐渡で構成）にて北陸信越運輸局ビジットジャパン地方連携事業を実施し、首都圏を経由した台湾・香港・米国からの誘客を図った。

＜カラーマジック観光ルート形成事業＞

- ・ 6/5～8 香港へセールスを実施
- ・ 6/18～22 台湾へセールスを実施
- ・ 10/23～29 香港・台湾より2名のブロガーを招請

＜上越新幹線食文化物語紹介事業＞

- ・ 7/10～16 米国（ロサンゼルス）へセールスを実施
- ・ 10/25～31 米国よりライター1名、旅行会社1名を招請

[観光誘客事業]

5 国内航空路集客事業

8,392,541円

新潟市が交通結節点としての優位性を有していることを周知・活用し、国内航空路就航地からの観光誘客を図った。

<空路誘客施策実施結果>

- ・平成29年4月から6月期間を対象にした期初空路誘客施策『航空旅行商品新潟市宿泊報奨金交付制度』の結果は3,734人泊を数え、前年比107%と伸長した。
- ・平成29年12月から平成30年2月の空路誘客閑散期を対象にした『航空旅行商品新潟市宿泊報奨金交付制度』の結果は2月の大雪によるツアーキャンセルの影響が響き1,814人泊（前年比69.3%）と大きく前年割れをした。

<旅行会社訪問>

- ・札幌：2回（6/19～20、11/1～2）
- ・名古屋：2回（7/10～11、11/30～12/1）
- ・大阪：3回（7/19～20、10/26～27、2/26～27）
- ・福岡：2回（5/18～20、1/18～19）
- ・首都圏：1回（2/1）
- ・沖縄：1回（11/9～10）

<新潟・佐渡宿泊旅行商品の助成>

- ・平成29年度 12件：2,232,060円＋スポット広告助成1件：700,000円
（前年度） 9件：1,172,596円

6 食と花の交流プログラム推進事業

39,577,810円

食、酒、花、自然、文化、人（匠）の他、農業体験、食文化体験など新潟の素材を活かした着地型旅行商品「新潟ふうど探訪の旅」を企画・実施し、観光誘客を推進した。

<新潟ふうど探訪の旅>

【出発日】	4～6月、9～2月
【造成・販売商品数】	10ツアー（前年度 10ツアー）
【催行数】	9ツアー（前年度 10ツアー）
【参加人数計】	167人（前年度 232人）

新潟の強みである酒を活かして、高い品質に裏付けられた清酒文化を学び、触れ、愛着を育んでもらうと同時に、新潟への来訪目的につなげるためのプログラムを実施した。

<丸の内朝大学>

2017年秋学期「酒の国にいがた プロデュースクラス」

参加者 32名（クラス委員2名含む）

- ・第1回 10月05日（木） 「酒の国にいがた」とは？
- ・第2回 10月12日（木） 「楽しい新潟清酒・楽しい新潟」
- ・第3回 10月29日（木） 「新潟清酒を学ぶ」
- ・第4回 10月26日（木） 「新潟清酒のこれから」
- ・第5回 11月03日（金）～4日（土）
フィールドワーク「酒の国にいがたを巡る」
- ・第6回 11月09日（木） 「酒の国にいがた」の取り組み紹介
- ・第7回 11月16日（木） 「酒の国にいがた」企画提案発表会
- ・第8回 12月09日（土） 新潟清酒達人検定 銅の達人検定

新潟市からの委託を受け、食や農と自然、歴史などの地域資源を結び、食文化を楽しむ「ガストロノミーツーリズム」の構築を目的としたレストランバスツアーを実施した。

<レストランバス>

運行期間 平成29年4月1日～7月1日

- ・土曜日定期コース（2回／日）
運行日数：13日 運行回数：25回 利用人数：398人
 - ・日曜日定期コース（2回／日）
運行日数：3日 運行回数：5回 利用人数：56人
 - ・水曜日定期コース ナイトクルーズ
運行日数：13日 運行回数：13回 利用人数：280人
 - ・スペシャルコース
運行日数：7日 運行回数：8回 利用人数：129人
 - ・団体貸出
運行日数：11日 運行回数：11回 利用人数：318人
 - ・市事業
運行日数：3日 運行回数：3回 利用人数：62人
- 合計 1,243人

7 みなとまち新潟観光推進事業

9,522,177円

新潟古町芸妓を観光資源と捉え、団体向け着地型プラン「新潟古町芸妓の舞鑑賞」、及び個人向け芸妓の舞鑑賞プラン「新潟花街茶屋」の企画、実施、販売を行った。

<新潟古町芸妓の舞鑑賞（団体向け）>

会 場	燕喜館、旧齋藤家別邸、北方文化博物館
商品造成・販売数	119ツアー（前年度：120ツアー）
催行回数	73回（前年度：68回）
参加人数	1,535人（前年度：1,325人）

<新潟花街茶屋（個人向けプラン）>

会 場	旧齋藤家別邸
実施回数	20回（前年度：19回）
参加人数	497人（前年度：390人）
市外・県外・海外比率	72.8%（前年度：53.9%）

8 訪日外国人集客事業

5,982,889円

国のビジット・ジャパン事業や県国際観光テーマ地区推進協議会事業、新潟市の誘客事業等との連携、更に当協会と市内宿泊施設との協働誘客活動として、海外の旅行会社へ向け、新潟の拠点性や観光情報を提供し、旅行商品の企画造成を促進させるなど、外国人観光客の入込人数、宿泊者の拡大を図った。

<セールスコール>

- ・韓国（ソウル）
 - 6/6～10 ソウル旅行会社へのセールス
 - 9/3～5 県国際観光テーマ地区推進協議会主催の観光プロモーションに参加
- ・台湾
 - 1/15～19 JNTO 主催インセンティブツアーに特化した商談会への参加及び台北地区旅行会社へのセールス
 - ※9月に大型インセンティブとして生命保険会社「南山人寿」3,840名のツアーをライオントラベルが実施
- ・ハワイ
 - 7/10～16 VJ 事業アメリカへのセールス時に当協会単独でホノルル地区へのセールス
 - ※新潟の酒に非常に興味を抱いていただき、3月の「にいがた酒の陣」ツアーを造成・集客、TVクルーとともに参加。（取材内容は平成30年5月に現地で放映、更に11月にはハワイアン航空の機内にて放映予定）
- ・オーストラリア
 - 12/5～9 JNTO 主催商談会参加及びシドニー地区旅行会社へのセールス
 - ※平成30年7～8月に修学旅行（教育関係者）の下見計画中

- ・カナダ
12/12～17 バンクーバー地区旅行会社へのセールス
※日本航空カナダを中心に商品造成
HIS にてカナダ、ハワイ、オーストラリア同時に発売開始

<商談会など>

- 9/11 インバウンドフォーラム参加（東京）
- 9/21～23 V J トラベルマート参加（東京）
- 1/31～2/1 インバウンドフォーラム参加（東京）及び都内旅行会社へのセールス

<招請事業>

- 4/21～ スーパーネットツアーズ（アメリカ）モニターツアー 1 班
- 5/11～ スーパーネットツアーズ（アメリカ）モニターツアー 2 班
- 5/26～ デラックスツアーズ（アメリカ）
- 11/5～ LTA HOLIDAYS（カナダ） TV 取材

海外からの観光誘客を推進するため「新潟古町芸妓の舞」の鑑賞費用の一部を助成し、観光客の増加と新潟湊町・花街文化イメージの発信を図った。

- ・交付実績 イギリス 1 回

「地方への誘客」を推進すべく、安定した二次交通運営体制づくりと海外市場ニーズを踏まえた実施プランを整備運営することで、県内への誘客を拡大させ地域経済への波及効果向上を目指し、韓国・台湾にてPRを実施した。

<団体貸切バス借り上げ費一部補助事業>

- ・台湾 16 団体 総計 485 人利用（前年比 245%）
- ※地域別人泊実績
村上 454 人泊／湯沢 21 人泊／新潟 506 人泊／延べ計 981 人泊（前年比 248%）

<不定期路線バス（スキーバス）運行補助事業>

- ・妙高・赤倉地区＝新潟市内ルート：往路 10 台、復路 13 台 往復 97 人利用
- ・湯沢・苗場地区＝新潟市内ルート：往路 29 台、復路 25 台 往復 345 人利用
- 往復総計 442 人利用／人数 234 人（前年比 220%／236%）

※地域別人泊実績

- 妙高・赤倉地区：165 人泊／湯沢・苗場地区：517 人泊／新潟市内：234 人泊
延べ計 916 人泊（前年比 221%）

9 旅行商品造成報奨金交付事業

11,856,238 円

海外観光客の新潟市内宿泊誘致促進のため、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会の報奨金制度（中国・台湾・韓国・ロシアの4ヶ国対象）への上乗せ及び、左記の4カ国以外には新潟市単独で、それぞれ旅行商品造成報奨金（1,000円）を交付した。また、報奨金交付制度を現地旅行会社に紹介し、各国から新潟への旅行商品の造成を促進した。

交付実績

・中国	2,643人泊	（前年度 6,891人泊）
・台湾	7,153人泊	（前年度 1,847人泊）
・韓国	1,604人泊	（前年度 1,269人泊）
・ロシア	408人泊	（前年度 129人泊）
・シンガポール	14人泊	（前年度 100人泊）
・アメリカ	212人泊	（前年度 54人泊）
・イギリス	98人泊	（前年度 0人泊）
市内人泊合計	12,132人泊	（前年度 11,057人泊）

10 食と酒インバウンド交流事業

4,082,165 円

新潟の強みである米と酒を中心とした食文化観光（ガストロノミーツーリズム）を推進定着させるために、先進地であるスペイン・ビルバオ市との継続的な交流連携のもと、新潟清酒をビルバオ市の飲食店関係者やメディア関係者に対して紹介を行い、米と酒の食文化都市としての新潟市の認知度向上と関心を高め来訪意欲の向上に努めた。

同時にスペインにおける訪日環境および状況について、マドリードの観光関係者との情報交換を行い、食文化観光（ガストロノミーツーリズム）による新潟市のインバウンド受入の可能性を探るとともにセールス活動を行なった。

[観光客受入環境整備事業]

11 にいがた観光タクシー利用促進事業

153,480 円

タクシーのサービスの向上を目的としたドライバーの現地研修や、観光タクシーに関わる広報・PRを実施し、にいがた検定合格者による観光タクシーの運行促進を図った。

- ・にいがた観光タクシー推進協議会による現地研修会「ビュー福島潟」
11/7～10, 14～15(6回実施) 参加者 88人

・広報・PRの実施

新潟県観光協会発行「うまさぎっしり新潟ガイドブック」、新潟市観光ガイドブック「新潟シティ・グルメガイドブック（ようきなった）」、JR時刻表等に「にいがた観光タクシー推進協議会」の定期観光タクシー・オーダー型タクシーを掲載。

・新潟市内シティホテルへのパンフレット設置、及びセールスを実施

1 2 新潟まつり花火観覧席運営

42,336円

新潟まつりへの誘客とホテル宿泊者へのもてなしの場として、花火大会観覧席を設置し、県内外のお客様に楽しんでいただいた。

開催日	平成29年8月6日（日）
場 所	信濃川右岸やすらぎ堤
料 金	2,000円/人
実 績	127人（前年度 159人）

1 3 観光ガイドブック発行支援

1,458,000円

新潟市中心部の飲食店等を掲載したガイドブック「ようきなった」の作成に協力し、必要部数を買取るとともに、コンベンション参加者や市内ホテル、関係各所へ配布し、食の街新潟のPRと来訪者の満足度向上に努めた。

1 4 新潟駅観光案内所等管理・運営

17,332,236円

多様化・広域化・国際化に対応するため、情報の入手・提供・更新を迅速に進め、観光案内の充実や職員のスキルアップを目的とした市内及び広域研修・視察を行い、来訪者の受入れ態勢整備を図った。

また、12月31日には日本政府観光局から「カテゴリー2」の外国人観光案内所に認定され、国際化に対応する体制づくりを進めた。

<案内件数>

・窓口	77,898人	（前年度	71,658人）
・電話	595件	（前年度	475件）
・外国人	4,131人	（前年度	3,336人）

<職員研修>

・新潟市内、佐渡市、阿賀野市、長岡市、浦佐地区、東京都（JNTO研修）

<手ぶら観光>

- ・預かり数 197個（前年度 164個）

<外国人観光客向け施策>

- ・SADO-NIIGATA Pass（ときめき佐渡・新潟観光圏）販売
- ・TIC TOKYOと県内各観光案内所とのネットワーク化
- ・無料SIMカード提供サービス
- ・インバウンド戦略構築のための外国人旅行者アンケートの実施

1 5 大型バス駐車場管理・運営

281,862円

観光、コンベンション等の団体客誘致のため、市内中心部で24時間出入可能な大型バス駐車場の管理運営を行い、誘客増加に努めた。

利用台数 420台（前年度 353台）

1 6 外客誘致イベント支援

580,000円

市民団体が中心となって開催される観光客誘致に繋がるイベントを支援し、助成等を行った。

食と花の世界フォーラム新潟 2017
日本海夕日キャンペーン
にいがた総おどり
にいがた春咲フェスタ
にいがた湊まち歴史ウォーク
にいがた庭園街道ネットワーク

1 7 伝統芸能振興・育成

387,854円

新潟の花街文化の伝承と古町芸妓の育成を図るため、伝統芸能育成積立金を活用し、出演料などの助成を行った。

「古町 柳と華の会」芸妓出演（芸妓 22人）
期 日：平成30年3月5日（月）
会 場：ホテルイタリア軒 サンマルコ
内 容：柳と華の会に芸妓が総出演し、踊りを披露

18 地域魅力発見事業

923,406円

第66回新潟市観光写真コンクールを実施し、観光振興に広く活用できる写真の募集・選出を行った。併せて入賞作品展を開催し、新潟市の観光魅力の周知を図った。

応募人数 103人、応募点数 322点（前年度 488点）
選出作品数 32点

19 にいがた観光親善大使派遣事業

5,161,868円

にいがた観光親善大使を選出し、日本開港五都市交流をはじめ、県内外での観光キャンペーンや新潟市で開催されるコンベンション等で新潟市の観光PRを行った。

<選出事業>

応募者数：23人（男：2 女：21）（前年度 42人）

- ・予選会 実施日：平成29年5月20日（土）
会 場：朱鷺メッセ
- ・本選会 実施日：平成29年5月26日（金）
会 場：新潟グランドホテル

<派遣事業>

件 数：117件（前年度 115件）

20 日本開港五都市観光交流事業

1,008,110円

日本開港五都市（函館・横浜・神戸・長崎・新潟）で構成される観光協議会に参加し連携を深めた。また各都市の代表的なまつりに、にいがた観光親善大使を派遣し、新潟のアピールに努めた。

<日本開港五都市観光協議会>

日時：平成29年11月15日（金）
会場：函館山展望台レストラン（函館市）

<開港都市みなとまつり> 日程は大使派遣日

長崎帆船まつり（4/22～24）
ザ・よこはまパレード（5/2～4）
神戸まつり（5/21～22）
函館港まつり（8/2～3）

<新潟まつり>

8/4：市長表敬、民謡流し、歓迎レセプション
8/5：キラキラパレード、市内観光

2 1 地域内連携推進事業

1,116,435円

賛助会員及びコンベンション主催団体などに、新潟市及び周辺地域の観光やコンベンションに関する情報の提供と、協会の活動状況などを広報するための機関誌「来夢来都」を年4回配布した。

また、新潟商工会議所と連携し、賛助会員等を対象としたおもてなし等に関するセミナーや、観光客等来訪者の満足度を高め再訪意欲の向上に資するため、地域商店街等が一体となった体制づくりと関連事業の検討を目的として、「もてなし推進事業検討ワーキング」を開催し、各種テキストの作成に協力した。

<機関誌「来夢来都」の発行>

発行：年4回（4月、7月、10月、平成30年1月）

部数：8,000部（@2,000部×4回）

<セミナーの開催>

新潟市観光セミナー「新潟市は観光地か？」

講師：(株)リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンター
田中麻衣子氏、ヒロ中田氏

期日：平成30年3月27日（火）13:30～16:00

参加者：220人

<もてなし推進事業検討ワーキング>

構成員：商店街、交通事業者、宿泊事業者等25名

開催：平成29年4月～平成30年3月 計8回

成果：地域内連携もてなし推進事業報告書 200部

<テキストの作成協力>

新潟商工会議所

一般小売・サービス事業者向け指さしシート「ようこそ新潟へ」

新潟市ハイヤータクシー協会

ドライバー用指さしシート「指さし英語」

新潟学テキスト「クイズ形式で楽しく学ぶ新潟の魅力」

新潟中心商店街協同組合

4カ国語対応「新潟古町ショッピングマップ」

公2：コンベンション事業

36,503,747円

[コンベンション誘致事業]

2 2 企業ミーティング誘致事業

486,307円

観光庁が推進するMICE推進アクションプランに連動し、企業ミーティングの誘致、支援に取り組んだ。

J T B 関東交流文化会にて新潟 P R

期 日：平成29年6月6日（火）

会 場：J T B 関東本社

内 容：関東管内の支店長、副支店長へのプレゼンを行った。

地方都市コンベンション関連合同団体ワークショップ

期 日：平成30年3月6日（火）

会 場：ホテルグランドアーク半蔵門

内 容：首都圏旅行会社法人担当者向けの合同ワークショップ

2 3 コンベンションセールス

2,377,973円

<セールス>

地元新潟の学術機関（大学等）・各種団体支部への誘致活動、情報収集を行うとともに、県外へのコンベンション誘致セールス（延べ191カ所）を行った。また、地方都市コンベンション関連団体加盟5協会の合同セミナーへブース出展や誘致セールス等を実施し、首都圏の主催者及び旅行エージェント等に対して新潟のコンベンション開催環境を P R するとともに、学会・大会開催情報の収集を行った。

地方都市コンベンション関連団体加盟合同誘致セールス

（新潟、松本、びわこ、高松、長崎）

期 日：平成29年5月23日（火）

会 場：幕張メッセ

内 容：日本地球惑星科学連合所属学会員に対してセールス活動

期 日：平成29年7月26日（水）

会 場：ホテルグランドアーク半蔵門

内 容：首都圏のコンベンション主催団体66人に対してセールス活動

期 日：平成29年12月6日（水）

会 場：東京湾クルーズ・シンフォニー船内

内 容：首都圏のコンベンション主催団体60人に対してセールス活動

期 日：平成30年1月6日（土）

会 場：国立科学博物館

内 容：日本分類学会連合に加盟する学会の役員に対してセールス活動

<キーパーソン招聘>

首都圏在住のコンベンション主催者を招聘し、朱鷺メッセ・市内ホテル・観光施設などを視察していただくとともに、当協会の支援制度などのプレゼンテーションを行い、新潟市内での開催をお願いした。

視 察 者：（一社）人工知能学会（3人）

視 察 日：平成29年9月18日（月）

視察箇所：朱鷺メッセ、他

視 察 者：（公社）計測自動制御学会（3人）
視 察 日：平成29年10月2日（月）～10月3日（火）
視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟、他

<セミナー・シンポジウム参加>

国際観光振興機構（JNTO）などが主催する研修会・セミナー・シンポジウム等に参加し、コンベンションや観光に関する専門性の向上に努めた。

<東北地区コンベンション推進協議会>

東北地区のコンベンションビューロー（青森・弘前・八戸・秋田・横手・盛岡・山形・庄内・米沢・気仙沼・仙台・福島・郡山・会津若松・新潟・長岡・上越）で構成される協議会に参加し、新潟及び東北地区の連携を強化するとともに、コンベンション誘致・支援に係る情報交換を行った。また首都圏で開催された東北地区合同のMICE誘致懇談会にブースを出展し、首都圏のコンベンション主催者へ東北・新潟でのコンベンション開催を呼びかけた。

・ 定例総会

期 日：平成29年9月7日（木）～8日（金）
会 場：青函連絡船メモリアルシップ 八甲田丸 大ホール（青森市）

・ 職員研修会

期 日：平成29年10月12日（木）～13日（金）
会 場：伝承の杜 大会議室・小会議室（米沢市）

・ 東北地区MICE誘致懇談会

期 日：平成29年12月11日（月）
会 場：都市センターホテル
内 容：首都圏のコンベンション主催団体66人に対しセールス

2 4 海外インセンティブツアー誘致事業

1, 043, 505 円

海外からのインセンティブ団体等の誘致のため、以下の海外セールスを実施した。

9月21日～23日 VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2017 商談会に参加。
26社との商談会を実施した。

10月22日～7日 JNTO シンガポール国際会議主催者セミナーに参加、
10社と商談を実施後、バンコクに移動し、旅行会社3社訪問。

2 5 コンベンション補助金

25, 394, 920円

都市間のコンベンション誘致競争が激化する中で、補助金制度を効果的に活用しながら、積極的な誘致活動を展開し誘致に努めた。

<コンベンション開催実績> ※スポーツ大会・競技会・コンクール等を含む

総件数：240件（前年度比－3件） ※うち国際コンベンション24件

参加人数：111,591人（前年度比－15,876人） ※うち国際コンベンション7,452人
<補助金交付実績>
申請件数：103件（前年度比－13件）
交付件数：88件（前年度比－8件） ※辞退15件
交付額：25,394,920円

26 国際ミーティングエキスポ出展事業 304,209円

コンベンション主催者との商談会「国際ミーティングエキスポ2018」に出展し国際会議観光都市新潟のコンベンション開催環境をPRするとともに、コンベンションの誘致に努めた。

会期：平成30年2月28日（水）
会場：京王プラザホテル本館5階「コンコードボールルーム」（東京・新宿）
主催：日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー、日本政府観光局
来場者：コンベンション主催者469名、出展者370名、メディア24名、
観光庁・JCCB役員等86名、合計949名

27 コンベンション貸付金（公2コンベンション誘致事業に貸付金含まず） 0円

新潟市で開催されるコンベンション主催者に対し、円滑な運営と成功に寄与するための開催準備に要する資金の貸付けであるが、平成29年度は申請がなかった。

[コンベンション開催環境整備事業]

28 コンベンション開催支援 3,714,421円

コンベンション誘致セールスに活用するためのツールを作成した。

- ・新潟みどころクーポン作成・配布部数：日本語25,000部、英語2,000部
- ・コンGRESSバッグの作成・配布枚数：35,000枚
- ・コンベンション参加者歓迎ポスターの作成・配布部数：500部×年4回
- ・「Niigata Convention Navi」紙ケースの作成：1,000枚

県外からの参加者が500人以上のコンベンションに対し、新潟駅万代口観光案内センター及び新潟駅構内、新潟空港に歓迎看板を掲示した。また、開催会場に「にいがた観光親善大使」を派遣し、歓迎挨拶や観光PRなどを行った。

- ・歓迎看板設置件数：27件／にいがた観光親善大使派遣件数：40件

29 コンベンション開催助成 2,800,335円

コンベンション開催時の伝統芸能アトラクションに対する助成及び、新潟市内の

エクスカーションにおいてバス・水上バスを利用する場合に助成を行い、伝統芸能のPRと活用、市内観光の促進を図った。

- ・おもてなし助成金交付：21 団体（伝統芸能件 17 件、エクスカーション 11 件）

前年度のコンベンション参加者へのアンケートで、「新潟での飲食」に関する興味・関心が非常に高かったことを受け、古町花街ぶらり酒実行委員会と連携し「大会ぶらり酒」のシステムを構築。専用チラシやチケットを作成し、7 大会・延べ 517 名にご利用いただいた。

30 コンベンション受入体制整備事業

93,530円

コンベンション開催時の受付や会場案内、クロークなど主催者の要望に応じてボランティアを派遣した。また、登録ボランティアの育成及び意見交換を兼ねた研修会を実施した。

コンベンションボランティア派遣件数：5 件（延べ 45 人）

研修会

日 程：平成 30 年 2 月 21 日（水） 参加ボランティア：16 人
会 場：新潟市歴史博物館 みなとぴあ 2 階セミナー室
研修内容：砂の町・新潟の楽しみ方！
講 師：路地連新潟代表、日和山五合目館長 野内隆裕氏

31 コンベンション開催予定表配布

102,787円

平成29年4月以降、及び10月以降に開催予定のコンベンションの予定表を年2回（4月・10月）作成し、賛助会員及び関係者に提供した。

32 コンベンション経済効果調査

185,760円

コンベンション参加者及び主催者へ新潟での消費額に関するアンケート調査を実施し、コンベンション誘致による地元経済の波及効果を測定した。

<調査対象コンベンション>

- (1) 日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会
回答数：128（参加者 545 人）
- (2) 第 53 回関東ブロック老人福祉施設研究総会
回答数：158（参加者 1,192 人）
- (3) 日本認知・行動療法学会第 43 回学術大会
回答数：198（参加者 1,187 人）

- (4) 第 61 回宇宙科学技術連合講演会
回答数：203（参加者 1,009 人）
- (5) 第 67 回全国英語教育研究会
回答数：200（参加者 1,215 人）

<参加者消費総額>

平成 29 年度に開催された学会・大会・会議・競技会・コンクール
件数 240 件、総参加者 111,591 人

- ・直接消費経済効果：約 41 億円
- ・1 人あたりの平均消費単価：36,881 円／人

法人会計

127,381,711円

1 理事会

- (1) 第 1 回通常理事会（決算）
 - ・期 日：平成 29 年 5 月 30 日（火）
 - ・会 場：白山会館
- (2) 第 2 回通常理事会（予算）
 - ・期 日：平成 30 年 3 月 16 日（金）
 - ・会 場：ホテルイタリア軒

2 評議員会

- (1) 第 1 回評議員会（決算）
 - ・期 日：平成 29 年 6 月 14 日（水）
 - ・会 場：白山会館
- (2) 第 2 回評議員会（予算）
 - ・期 日：平成 30 年 3 月 22 日（木）
 - ・会 場：白山会館

3 各団体加入負担

社団法人新潟県観光協会及び大都市観光協会連絡協議会、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会などに加入し、引き続き情報収集を行うとともに、連携して対外宣伝と誘客に努めた。

4 事務局管理費

公益財団法人会計を適正に執行するため、引き続き税理士法人さくら総合会計と予算の執行管理、及び予算・決算等の資料作成にかかる業務契約を締結した。

5 新規加入賛助会員 当初会員数 〈団体会員〉 298 社、〈個人会員〉 1 人

新規入会

〈団体会員〉 6社

- ・公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団
- ・株式会社 ニイガタ文具
- ・ラマダホテル新潟
- ・一般社団法人 ピースキッチン新潟
- ・株式会社 篠原商店
- ・株式会社ノバレーゼ 新潟モノリス

退 会

〈団体会員〉 11社 〈個人会員〉 1人

期末会員数

〈団体会員〉 293社